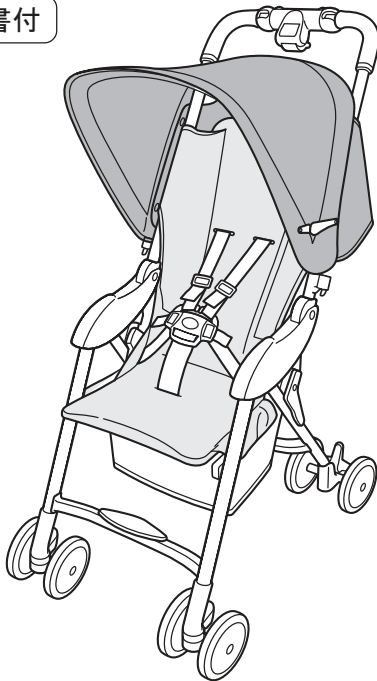


Combi

コンビ ベビーカー カルパット RW-240 取扱説明書

品質保証書付



このたびはコンビ ベビーカー カルパットをお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 本製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内
- 使用できるお子さまの年齢：生後7ヵ月※以上36ヵ月以内（お子さまの体重の目安15Kgまで）

※生後7ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、7ヵ月経過した乳児を示します。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

安全にお使いいただくために

- 本書で示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただくためのものです。「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の、切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- 開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。
- お子さまを乗せたまま、持ち上げないでください。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- シートベルトを必ず締めて使用してください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒して、お子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。
- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。
- ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉は、他人やお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。破損の原因となります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。

- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマーブラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマーブラザにご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、後脚後側に貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNoをお知らせください。
- ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。

- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があります。色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
- 地球環境のため、放置はしないでください。

日常のお手入れ

縫製品のお手入れ

- シート、シートベルト、幌、買い物カゴのお手入れ
- ・ シート、幌や買い物カゴは液につけず、40℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- ・ 幌のプラスチック部分やカゴのホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・ 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- ・ 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ シート、シートベルトは取りはずすことはできません。
※ 製品の特性上若干色あせすることがあります。
※ 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめにお手入れを行い、清潔に保つよう心がけてください。

車体の清掃について

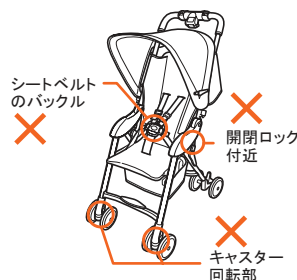
- ⚠ 注意
- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

- ⚠ 注意
- お子さまがなめる可能性の高いアームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、潤滑油を少量、注油してください。注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



保管のしかた

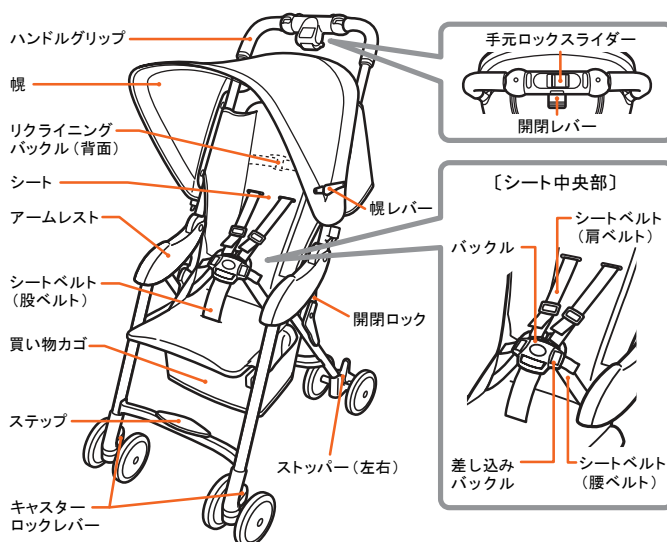
- ⚠ 注意
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

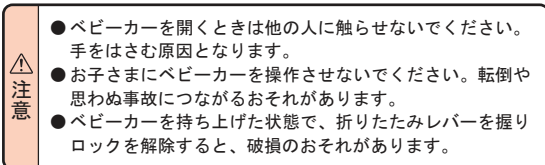
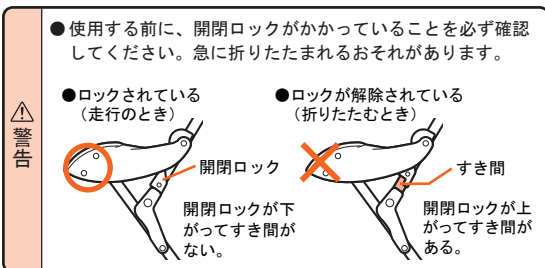
- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にしてねかせてください。

便利なオプション(別売)

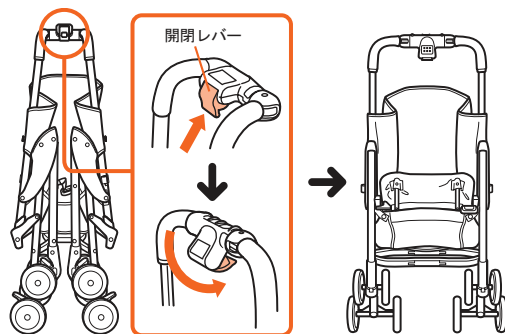
- コンパクトレインカバー 晴れるといいな ZT
- ニンナナンナ 子守帯ケーブ
- ショルダーストラップ

各部のなまえ



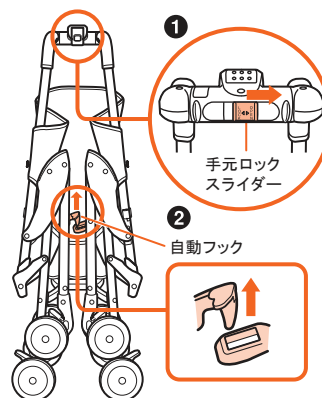


2. 開閉レバー（赤色）を握りながら下方方向に回転させ、ベビーカーを開く。

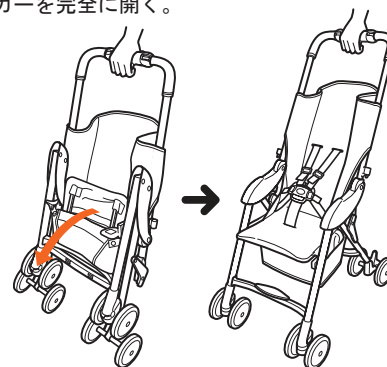


- ワンポイント**
- 右図の状態を2面折りといいます。
 - ベビーカーを開いた状態で、腰ベルトがはみ出したり開閉ロックに引っかかっているときは、ベルトをシートの内側に引っばってください。

1. 1 手元ロックスライダーのロックを解除する。
- 2 自動フックを引き上げてははずす。



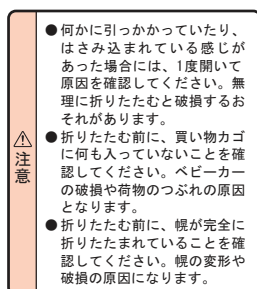
3. 開閉レバー（赤色）を握りながら、ハンドルグリップを持ち上げベビーカーを完全に開く。



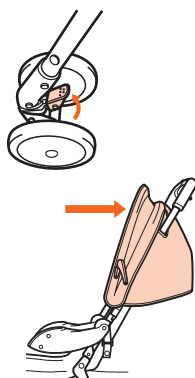
- ワンポイント**
- ベビーカーを地面につけた状態から開閉レバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態では開閉レバーを握っても開かないおそれがあります。
 - 片手でベビーカー本体の開操作がやりにくい場合は、両手の使用でも開操作ができます。

ベビーカーの折りたたみかた

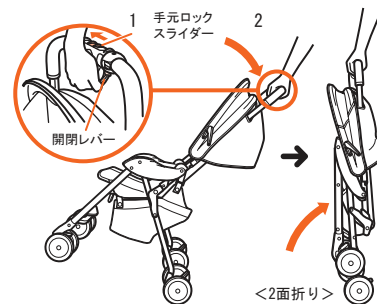
- 幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまどめてください。
- ベビーカーは、2面折りの状態でも折りたたみロックがかかります。



1. 左右のキャスターをロックし、幌をたたむ。

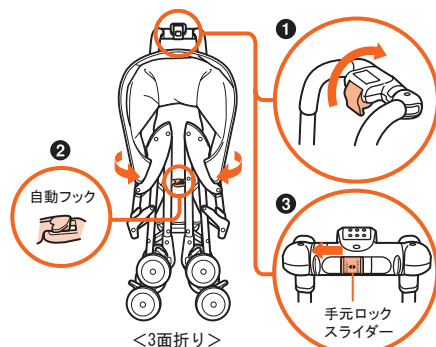


2. 1 手元ロックスライダーのロックを解除する。
- 2 開閉レバーを握りながら、後車輪を支点にして矢印方向に倒し、2面折りにする。



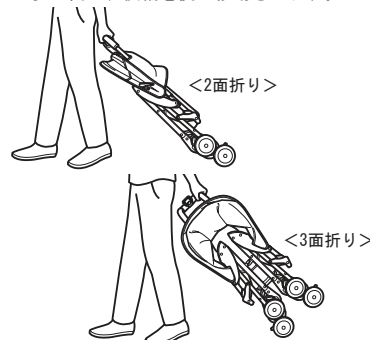
- 注意**
- 2面折りの状態では、ベビーカーを自立させることができません。自立させる場合には、3面折りにしてください。

3. 1 開閉レバー（赤色）を上方向に回転させ、3面折りにする。
- 2 自動フックがかかっていることを確認する。
- 3 手元ロックスライダーをロックする。



- ワンポイント**
- 片手でベビーカー本体の開操作がやりにくい場合は、両手の使用でも開操作ができます。

- ワンポイント**
- ベビーカーの移動のしかた
- ベビーカーは2面折り、3面折りにして移動することができます。それぞれ図のようにベビーカーを少し倒し、後輪を使い移動させます。



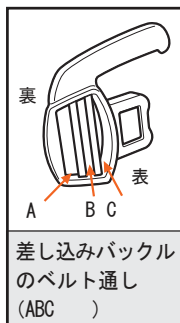
- 注意**
- 3面折りでストッパーが地面をこする場合は、2面折りにして移動させてください。



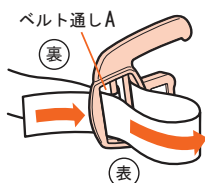
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜けだし、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

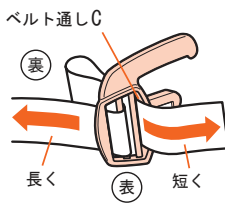
腰ベルトの長さ調節



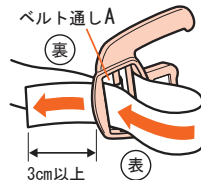
1. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しA からはずす。



2. 腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。



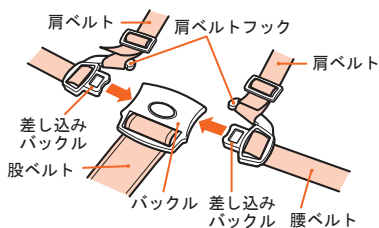
3. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しA から裏側に通す。



ワンポイント
腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

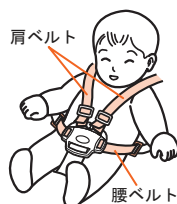
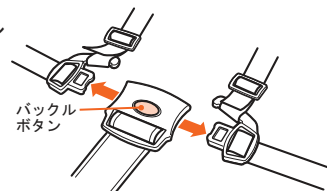
シートベルトを締めるとき

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
2. 股ベルトを引き出し、肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っ掛け、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っ掛けて、はずれないことを確認する。



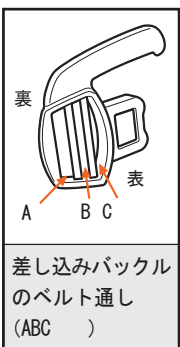
シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。



- ワンポイント
・ お子さまが抜け出さないように、シートベルトを適切な長さに調節してください。
- ・ 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」をご覧ください。取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

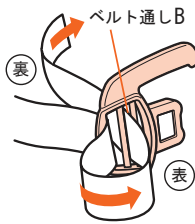
腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた



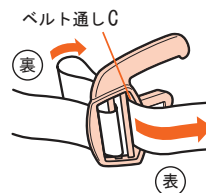
1. バックルのベルト通しA に腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。



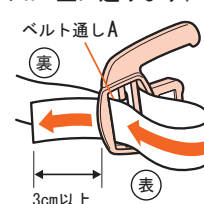
2. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しB から裏側に通す。



3. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しC から表側に通す。



4. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しA から裏側に通す。(ベルト通しA には腰ベルトが2重に通ります)



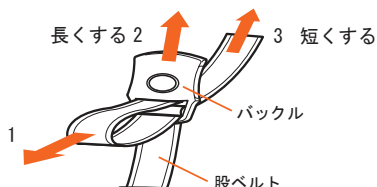
差し込みバックルへの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。取り付け後、腰ベルトを強く引っ張り、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに1 調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、2 バックルを引っ張り、短くするときには、3 ベルトの端を引っばる。



ワンポイント
股ベルトは取りはずしできません。

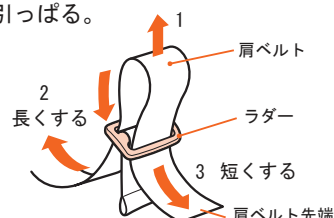


肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに1 調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、2 の方向に引っ張り、短くするときには、3 の方向に引っばる。



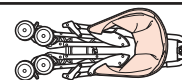
ワンポイント
ラダーは取りはずしできません。



幌の取り付けかた、はずしかた、使いかた

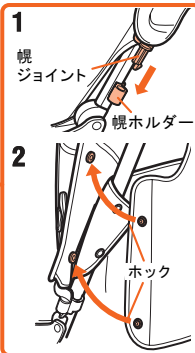
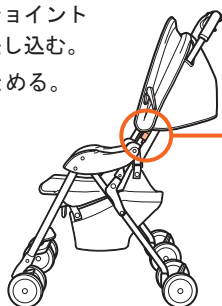


保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きにねかせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。



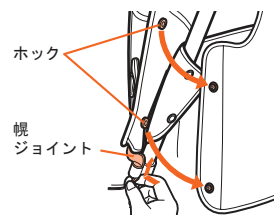
取り付けかた

1. 幌の前後を確かめて、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込む。
2. 幌内側の左右のフックをとめる。



はずしかた

フックをはずし、幌ジョイントの下端をつまみながら、引き抜く。



ストッパーの使いかた

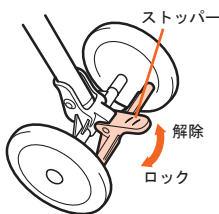


- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。



- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。



ストッパーをロックするとき

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

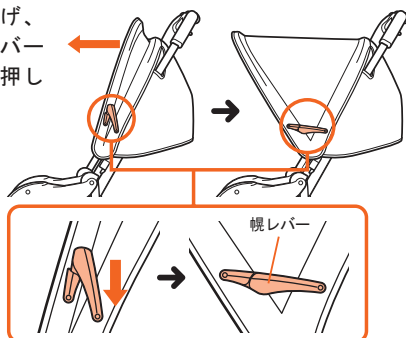
ストッパーのロックを解除するとき

ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

- 幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。

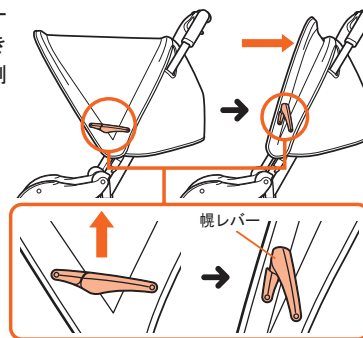
使用するとき

幌を前に広げ、左右の幌レバーの関節部を押し下げる。



収納するとき

左右の幌レバーの関節部を引き上げ、幌を後側にまとめる。



キャスターの使いかた

- キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
- キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。



- キャスターをロックする位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置でロックしてください。
- このベビーカーはキャスターをロックしないと折りたためない構造になっています。ベビーカーを折りたたむときは、必ずキャスターを左右ともロックしてください。

キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除する。



坂道や凹凸のある路面を押しときは、キャスターをロックする。キャスターを進行方向に対して真後ろになる位置にあわせてキャスターロックレバーを上げます。



キャスターを使用しない場合

前向きにしてのロックは、使用しないでください。



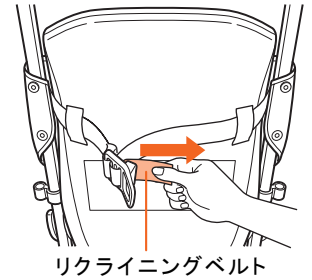
リクライニングの使いかた



- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないで下さい。非常に危険です。
- お子さまを乗せたまま操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないよう十分ご注意ください。

背もたれを倒すとき

リクライニングバックルを起こしながら左に移動させます。お子さまを乗せたまま操作するときは、他方の手でお子さまの体重を支えてください。



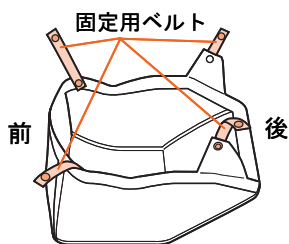
背もたれを起こすとき

リクライニングベルトを右に引っばります。

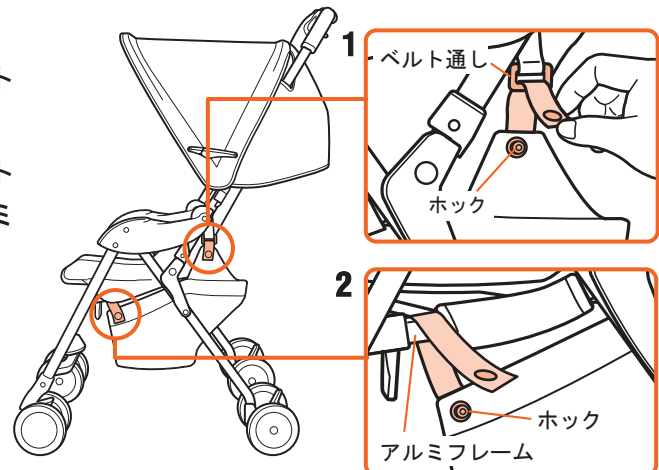
買い物カゴの取り付けかた



- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものはいれないでください。カゴの変形および破れの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。



1. カゴ後部左右の固定用ベルトを、アームレスト後部の左右のベルト通しに通し、ホックでとめる。
2. カゴ前部左右の固定用ベルトを、シート側部の左右のアルミフレームにホックでとめる。



● 荷物について

できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように乗せてください。

Combi

コンビ
ベビーカー
カルバット

コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、コンシューマープラザ(Customer Service Center)までご連絡ください。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)
〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区約上新田271 TEL(048)797-1000 FAX(048)798-6109
コンシューマープラザ(Customer Service Center)/西日本担当
〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16 TEL(06)6942-0379 FAX(06)6942-0302
＜ホームページ上でのお問い合わせ＞ <http://www.combi.co.jp/cp/>

インターネット上に育児コミュニティを開設しています

コンビの育児応援サイト・コンビタウン
<http://www.combibaby.com>